

# 入 札 公 告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 7 年 9 月 2 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産資源研究所 管理部門長 南 浩史

## 1. 調 達 内 容

- (1) 調達件名及び数量 中層トロールサンプル分析業務 一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期限 令和 8 年 3 月 23 日
- (4) 履行場所 入札説明書による。
- (5) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

## 2. 競 争 参 加 資 格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成13年4月1日付け13水研第65号）第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和7・8・9年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等」の業種「調査・研究」で「A」、「B」、「C」又は「D」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。  
ただし、全省庁統一資格に格付けされている者である場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者でないこと。
- (5) 本業務を履行しうる知識・技術を有することを証明した者であること。
- (6) 仕様書を踏まえた実施体制を整備するとともに、第三者に委託することなく業務責任者（査定結果の最終判定を行える者）を有することを証明した者であること。

## 3. 入 札 説 明 書 等 の 交 付 方 法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。

### ① 直接交付

神奈川県横浜市金沢区福浦2-12-4  
国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産資源研究所 管理部門管理課  
電話 045-788-7629  
FAX 045-788-5001

### ② 宅配便着払いによる交付

任意書式に「中層トロールサンプル分析業務入札説明書宅配便にて希望」と記入し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

### ③ メールによる交付

任意書式に「中層トロールサンプル分析業務入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

## 4. 入 札 説 明 会 の 日 時 及 び 場 所 等

仕様書等に関し質疑がある場合には、令和7年9月1

9日までに上記3.あてにメール（アドレスは入札説明書に記載）又はファックスにて質疑を行うこと。当日までの質疑を取りまとめ、回答は入札説明書受領者全員に對して行うとともに当機構のホームページにて公表することにより入札説明会に代える。

なお、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、同様に対応する。

ただし、質疑内容に個人に関する情報であって特定の個人を識別し得る記述がある場合及び法人等の財産権等を侵害するおそれのある記述がある場合には、当該箇所を伏せ又は当該質疑を公表せず、質疑者のみに回答することがある。

## 5. 証明に関する事項

- (1) 証明書等
- (2) 提出場所
- (3) 提出期限

競争参加者は、上記2.(5)及び(6)を証明する証明書等を提出しなければならない。

入札説明書による。

3.①に同じ。

令和7年9月12日 17時00分

## 6. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所

令和7年9月29日 14時00分  
神奈川県横浜市金沢区福浦2-12-4  
国立研究開発法人水産研究・教育機構  
横浜庁舎 ビデオライブラリー室

- (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所

令和7年9月29日 12時00分  
3.①に同じ。

## 7. その他

- (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨。

- (2) 入札保証金及び契約保証金

免除。

- (3) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。

- (4) 契約書作成の要否

要。

- (5) 落札者の決定方法

予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

- (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。

- (7) 詳細は入札説明書による。

## 8. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先

次の①及び②いずれにも該当する契約先

① 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等<sup>※注1</sup>として再就職していること

② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること<sup>※注2</sup>

なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。

※注1 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えると認められる者を含む。

※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。

- (2) 公表する情報

上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。

① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名

- ② 当機構との間の取引高
- ③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
  - 3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
- ④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当機構に提供していただく情報

- ① 契約締結日時時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
- ② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

(5) その他

当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認いただくとともに、所要の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了解願います。

9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：[https://www.fra.go.jp/home/keiyaku/files/pledge\\_requestnote\\_contract2.pdf](https://www.fra.go.jp/home/keiyaku/files/pledge_requestnote_contract2.pdf)）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

# 業務仕様書

1. 件名 中層トロールサンプル分析業務
2. 業務目的 本業務は、西部太平洋熱帯域・亜熱帯域におけるカツオ仔稚魚の垂直分布様式を明らかにするために、中層トロールで採集された魚類および頭足類を同定し、計数・計測することを目的とする。
3. 数量 70 検体  
(検体送付数量と予定時期)
  - ・ 1 回目：9 月発送予定 20 検体
  - ・ 2 回目：11 月発送予定 20 検体
  - ・ 3 回目：12 月発送予定 30 検体
4. 納入場所 神奈川県横浜市金沢区福浦 2-12-4  
国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所
5. 履行期限 令和 8 年 3 月 23 日
6. 業務内容 本業務は秋季～冬季亜熱帯海域において、中層トロール各曳網層（水深 30-200m）の水平曳によって採集され冷凍で保存した 70 検体（1 検体当たり約 20kg 以下）の分析業務を下記の【分析内容】の通り行うこと。なお、分析作業は魚類（特に中層性深海魚類・浮遊性幼稚魚）および頭足類の分析に精通した者が行うこと。

## 【分析内容】

### (1) 標本の送付

すべての試料と試料一覧表は契約締結後請負者に送付する。送付にかかる運送費は当所が負担する。

### (2) 標本の確認

請負者は検体を受領後、検体と一覧表との照合ならびに状態確認を行い、当所へ受領した旨の連絡を行うこと。なお、検体と一覧表との不一致や輸送中の事故があった場合は、速やかに当所と取扱いについて協議する。

### (3) 試料の解凍・選別

試料を、常温（夏季は氷水）で解凍する。その後、魚類・頭足類とその他生物（甲殻類など）に選別する。その他生物は破棄してよい。

#### (4) 種の同定・写真撮影

魚類および頭足類において、可能な限り「種の同定」を行う。個体の破損や稚魚期等により種同定が困難な場合は「属もしくは科同定」を行う。但し、レプトセファルス幼生については上記の査定は必要ない。同定したカツオ・マグロ属魚類を除く全種について、状態のよい1個体を選出し、写真撮影を行う。その際、魚類は各鰭を針（志賀昆虫針00-05号推奨）を用いて展鰭した標本写真を撮影する（図1）。頭足類については、触腕の形状が分かるように撮影する。撮影に用いた個体は、付与した個体識別番号を書いた耐水紙ラベルを同封し、4~100mlのパッキン付瓶にて10%ホルマリンで個体ごとに保存する。ビンの蓋にも個体識別番号を記入する。なお、魚類と頭足類の種同定および標本撮影は以下に示す資料等を参照に実施すること。

#### 【参考資料】

- ・日本産稚魚図鑑第2版 沖山宗雄（編）東海大学出版会
- ・日本産魚類検索全種の同定第3版 中坊徹次（編）東海大学出版会
- ・FAO species identification guide for fishery purposes. The living resources of the Western Central Pacific. Carpenter K. E. and Niem V. E. (Eds) FAO.
- ・魚類標本の作製と管理マニュアル. 本村浩之編 鹿児島大学総合研究博物館.
- ・新編 世界イカ類図鑑 奥谷喬司（著）東海大学

#### (5) 同定した種の計数・計測

各検体において同定した魚類・頭足類分類群すべての種において計数および総重量の計測を行い、印刷した野帳（表1）に記入する。このうち、ランダム選別した20個体を上限に魚類は体長（魚種によっては全長）、および体重を、頭足類は外套長と体重を計測し、印刷した野帳（表2）に記入する。なお、カツオ・マグロ属魚類以外の計測済みサンプルは、受託者が適切に処分すること。

#### (6) カツオ・マグロ属魚類の計数・計測・保管

(4)の同定作業で出現したカツオ・マグロ属魚類については、展鰭した標本撮影は行わず、すべての個体について、全長・尾叉長・体長・体重を計測後、パッキン付ガラス製ねじ口瓶に99%エタノールで個別保存する。ねじ口瓶は容量50mlのものを標準的に用いることとする。保存の際には、耐水紙でラベルを作り、航海番号、採集年月日、観測点番号、検体番号、ねじ口瓶番号を鉛筆で記入し、瓶の中に入れる。瓶の蓋にも、同様の事項を油性のマジックインキ等で記入する。

#### (7) 結果の入力

(5)で測定結果を記入した野帳をもとに、表3・4を参考に結果を入力する。

#### (8) 納入成果物の提出および提出先

「成果物（野帳、電子成果物）」「標本撮影済みの模式標本（ホルマリン固定）」「カツオ・マグロ属魚類の標本（エタノール固定）」の3点を一括して当研究所宛に送

付する。送付後速やかにその旨を担当職員に連絡すること。

- ・野帳

検体ごとに結果を記入した野帳の原本を提出すること。

- ・電子成果物

表3・4のフォーマットを参考に結果をまとめたエクセルファイルと標本写真データ（JPG）を保存したCD-Rを2部用意する。

(9) 特記事項

- 1) 作業中に疑義が生じた場合は、当所担当職員と適宜打ち合わせを行い、合意を得たうえで作業を進行すること。
- 2) 業務に必要となる資材、運搬にかかる手配及び費用は全て請負者が負担すること。
- 3) 分析終了後、当所にてクロスチェックを行い、不備が発覚したときは全面やり直しを命ずる場合がある。
- 4) 詳細については担当職員の指示に従うものとする。
- 5) 分析標本数が半分程度完了した段階で、中間報告をするものとする。
- 6) 種同定に関する高度な専門性を有することを確認するため、以下の書類のいずれかの提出を必須とする。
  - (i) 生物分類技能検定1級（水圏生物部門）の資格を有することを証明する書類
  - (ii) 魚類または頭足類に関する英語の分類学的論文において、筆頭著者として執筆した実績を示す論文の写し



図1. 各鰭を展鰭した状態の標本写真（クマドリハダカ）



表 2. 魚種別体長測定記入用野帳（印刷用）

中層トロール 魚種別体長測定野帳

種 :				種 :				種 :			
No.	体長 (mm)	部位	体重 (g)	No.	体長 (mm)	部位	体重 (g)	No.	体長 (mm)	部位	体重 (g)
1		全/尾/標		1		全/尾/標		1		全/尾/標	
2		全/尾/標		2		全/尾/標		2		全/尾/標	
3		全/尾/標		3		全/尾/標		3		全/尾/標	
4		全/尾/標		4		全/尾/標		4		全/尾/標	
5		全/尾/標		5		全/尾/標		5		全/尾/標	
6		全/尾/標		6		全/尾/標		6		全/尾/標	
7		全/尾/標		7		全/尾/標		7		全/尾/標	
8		全/尾/標		8		全/尾/標		8		全/尾/標	
9		全/尾/標		9		全/尾/標		9		全/尾/標	
10		全/尾/標		10		全/尾/標		10		全/尾/標	
11		全/尾/標		11		全/尾/標		11		全/尾/標	
12		全/尾/標		12		全/尾/標		12		全/尾/標	
13		全/尾/標		13		全/尾/標		13		全/尾/標	
14		全/尾/標		14		全/尾/標		14		全/尾/標	
15		全/尾/標		15		全/尾/標		15		全/尾/標	
16		全/尾/標		16		全/尾/標		16		全/尾/標	
17		全/尾/標		17		全/尾/標		17		全/尾/標	
18		全/尾/標		18		全/尾/標		18		全/尾/標	
19		全/尾/標		19		全/尾/標		19		全/尾/標	
20		全/尾/標		20		全/尾/標		20		全/尾/標	
種 :				種 :				種 :			
No.	体長 (mm)	部位	体重 (g)	No.	体長 (mm)	部位	体重 (g)	No.	体長 (mm)	部位	体重 (g)
1		全/尾/標		1		全/尾/標		1		全/尾/標	
2		全/尾/標		2		全/尾/標		2		全/尾/標	
3		全/尾/標		3		全/尾/標		3		全/尾/標	
4		全/尾/標		4		全/尾/標		4		全/尾/標	
5		全/尾/標		5		全/尾/標		5		全/尾/標	
6		全/尾/標		6		全/尾/標		6		全/尾/標	
7		全/尾/標		7		全/尾/標		7		全/尾/標	
8		全/尾/標		8		全/尾/標		8		全/尾/標	
9		全/尾/標		9		全/尾/標		9		全/尾/標	
10		全/尾/標		10		全/尾/標		10		全/尾/標	
11		全/尾/標		11		全/尾/標		11		全/尾/標	
12		全/尾/標		12		全/尾/標		12		全/尾/標	
13		全/尾/標		13		全/尾/標		13		全/尾/標	
14		全/尾/標		14		全/尾/標		14		全/尾/標	
15		全/尾/標		15		全/尾/標		15		全/尾/標	
16		全/尾/標		16		全/尾/標		16		全/尾/標	
17		全/尾/標		17		全/尾/標		17		全/尾/標	
18		全/尾/標		18		全/尾/標		18		全/尾/標	
19		全/尾/標		19		全/尾/標		19		全/尾/標	
20		全/尾/標		20		全/尾/標		20		全/尾/標	
船名 : 俊鷹丸/その他 ( )				曳網地点 :				曳網年月日 :			
調査番号 :				曳網時刻 :				測定者 :			
備考											

表 3. 同定結果と総数・総重量計測データのフォーマットと記入例

Code_ship	Cruise_number	Station	Day	Towing	分類群	科	属	種	Family	Genus	Species	N	W_g	Sub-sample
SHU	2005	9	1	1		ソコイワシ	ギンソコイワシ	ギンソコイワシ	Bathylagidae	Dolicholagus	longirostris	32	636.88	0
SHU	2005	9	1	1		ホテイエソ	ホテイエソ	ホテイエソ	Melanostomiidae	Photonectes	albipennis	2	96.62	0
SHU	2005	9	1	1		ホテイエソ	カンテントカゲギス属		Melanostomiidae	Melanostomias		1	64.01	0
SHU	2005	9	1	1		ミツマタヤリウオ	ミツマタヤリウオ	ナンヨウミツマタヤリウ	Idiacanthidae	Idiacanthus	fasciola	2	2.55	0
SHU	2005	9	1	1		ホウライエソ	ホウライエソ	ホウライエソ	Chauliodontidae	Chauliodus	sloani	27	205.87	0
SHU	2005	9	1	1		ムナビレハダカエソ	ムナビレハダカエソ	ムナビレハダカエソ	Sudidae	Sudis	atrox	8	33.10	0
SHU	2005	9	1	1		ホテイエソ	マヤカシホシエソ	マヤカシホシエソ	Melanostomiidae	Thysanactis	dentex	4	43.74	0
SHU	2005	9	1	1		フデエソ	フデエソ		Notosudidae	Scopelosaurus		7	25.20	0
SHU	2005	9	1	1		ギンハダカ	ウキエソ	ヤベウキエソ	Phosichthyidae	Vinciguerria	nimbaria	193	83.57	0
SHU	2005	9	1	1		サイウオ	サイウオ		Bregmaceroidea	Bregmaceros		129	257.23	0
SHU	2005	9	1	1	レプトセファルス幼生							25	17.29	0
SHU	2005	9	1	1		ゴンベ	ウイゴンベ	ウイゴンベ	Cirrhitidae	Cyprinocirrhites	polyactis	1	0.80	0
SHU	2005	9	1	1		ハタ (ハナダイ亜科)			Serranidae(Anthiinae)			2	0.72	0
SHU	2005	9	1	1		ヒシダイ	ヒシダイ	ヒシダイ	Caproidae	Antigonia	capros	1	2.42	0
SHU	2005	9	1	1		フサカサゴ	クロカサゴ	クロカサゴ	Scorpaenidae	Ectreposebastes	imus	1	11.63	0
SHU	2005	9	1	1		アオメエソ	アオメエソ		Chlorophthalmidae	Chlorophthalmus		9	16.21	0
SHU	2005	9	1	1		デメエソ	デメエソダマシ	ミカエルデメエソ	Scopelarchidae	Scopelarchus	michaelsarsi	1	0.57	0
SHU	2005	9	1	1		シロカサゴ	アカカサゴ		Setarchinae	Lythrichthys		1	0.62	0
SHU	2005	9	1	1		ダルマガレイ			Bothidae			2	1.16	0

表 4. 体長・体重計測データのフォーマットと記入例

Cruise name	St.	Date	Year	Month	Day	分類群	科	属	種	Family	genus	species	BL	BW
航海名	観測点	yyyyymmdd											mm	g
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		キンメダイ	キンメダイ	フゼンキンメ	Berycidae	Beryx	mollis	62.0	4.8
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		シマガツオ	シマガツオ	マルバシマガツオ	Bramidae	Brama	orcini	68.0	8.8
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		シマガツオ	シマガツオ	マルバシマガツオ	Bramidae	Brama	orcini	69.8	9.2
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	62.6	3.9
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	61.8	3.8
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	66.0	5.3
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	61.1	4.1
SHU1406	5	20150208	2015	02	09		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	60.2	3.3
SHU1406	5	20150208	2015	02	09		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	55.2	2.6
SHU1406	5	20150208	2015	02	09		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	58.5	3.1
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	50.4	1.7
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	50.1	1.9
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	50.5	1.9
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	30.4	0.4
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	41.3	1.0
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	51.4	2.3
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		クシスミクイオ	クシスミクイオ	トダクシスミクイオ	Howellidae	Howella	zina	52.7	2.2
SHU1406	5	20150208	2015	02	09		ムサシクワチ	ムサシクワチ	ムサシクワチ	Scombrolabracidae	Scombrolabrax	heterolepis	138.5	37.7
SHU1406	5	20150208	2015	02	09		ムサシクワチ	ムサシクワチ	ムサシクワチ	Scombrolabracidae	Scombrolabrax	heterolepis	68.3	3.5
SHU1406	5	20150208	2015	02	09		ムサシクワチ	ムサシクワチ	ムサシクワチ	Scombrolabracidae	Scombrolabrax	heterolepis	51.0	1.4
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		フデソ	フデソ	ヒカリフデソ	Notosudidae	Scopelosaurus	hoedti	90.8	3.3
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		クワチカマス	ハシナガクワチ	ハシナガクワチ	Gempylidae	Nesiarchus	nasutus	127.0	3.0
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		ムネソ	テングムネソ	トガリムネソ	Sternoptychidae	Argyropelecus	aculeatus	37.0	1.7
SHU1406	5	20150208	2015	02	08		ムネソ	テングムネソ	トガリムネソ	Sternoptychidae	Argyropelecus	aculeatus	19.9	0.3